

# 2024年度

## 第4四半期決算

期間：2024年7月1日～9月30日

2024年11月14日、ドイツ・ミュンヘン

### 好調な第4四半期で2024年度が終了

「今年も好調な会計年度で、記録的な利益を上げ、戦略を厳格に実行しました。特に、電化、輸送、産業用ソフトウェア製品に対する強い需要が続いたことから恩恵を受けた一方で、オートメーション事業は依然として厳しい状況でした」とシーメンスAG 代表取締役社長兼CEOのローランド・ブッシュは、述べています。「2025年度から、シーメンスを次のレベルの価値創造へと導きます。今後も研究開発とM&Aへの投資を継続し、当社の技術的強みと業界を超えて事業を拡大する能力を基盤として、より迅速な成長を実現していきます。アルテアの買収計画は、産業用ソフトウェアとAIにおける当社のリーダーシップを強化するものです。現実世界とデジタル世界を組み合わせる私たちの技術は他に類を見ません。」

「2024年度も95億ユーロという素晴らしいフリーキャッシュフローを達成しました。さらに、堅調な貸借対照表を基盤として、厳格な資本配分の方針を堅持し、当社の株主に魅力的なリターンを生み出しながら、収益性の高い成長に焦点を当てた投資を継続しています。今回の配当金の5.20ユーロへの増額案と、それに対応する配当利回り2.9%の利回りは、当社の株主の皆様にとってメリットとなるでしょう」と、シーメンスAG CFOのラルフ・P・トーマスは述べています。

- 第4四半期の受注は、通貨換算とポートフォリオの影響を除くと、比較可能ベースで10%増加し、収益は2%増加
- 名目ベースでは、受注額は8%増の229億ユーロ、収益は1%増の208億ユーロで、出荷高に対する受注高の比率（以下、BBレシオ）は1.10
- インダストリービジネスの利益は31億ユーロと好調で、利益率は15.5%
- 純利益は21億ユーロに増加。対応する基本1株当たり利益（EPS）は2.42ユーロ、購入価格配分会計前のEPS（PPAあたりのEPS）は2.57ユーロ
- 優れたキャッシュ創出により、シーメンスグループのフリーキャッシュフローは50億ユーロを達成
- .
- .
- 2024年度通年で、比較可能ベースでは売上高は3%増、受注高は4%減、名目ベースでは、売上高は1%増の759億ユーロ、受注高は6%減の841億ユーロとなり、BBレシオは1.11
- 2024年度インダストリービジネスの利益は微増の114億ユーロ
- 純利益は5%増の90億ユーロと歴史的な高水準となり、これに対応する基本的EPSは10.53ユーロ、PPA前のEPSは11.15ユーロに達しました。PPA前のEPSに0.61ユーロ寄与したシーメンス・エナジー・インベストメントを除いたPPA前のEPSは10.54ユーロとなり、ガイダンスを達成
- シーメンスグループのフリーキャッシュフローは95億ユーロと好調
- シーメンス、1株当たり配当金を前年の4.70ユーロから5.20ユーロに増額することを提案
- 2024年度終了後、シーメンスはイノモティクスの売却を完了し、2025年度に20億ユーロの税引き後利益が暫定的に発生する

## シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第4四半期		増減%	
	2024年度	2023年度	実績	比較
受注	22,933	21,152	8%	10%
売上	20,811	20,617	1%	2%
利益 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	3,120	3,364	(7)%	
内：退職手当	(84)	(147)		
利益率 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	15.5%	16.7%		
退職手当を除く	15.9%	17.4%		
継続事業からの利益				
	2,176	1,916	14%	
内：退職手当	(117)	(177)		
非継続事業からの利益、 (税控除後)	(61)	(14)	>(200)%	
純利益	2,115	1,902	11%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	2.42	2.17	11%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	2.57	2.34	10%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)				
	4,980	4,634	7%	
キャッシュ・ コンバージョン・レート	2.35	2.44	(4)%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	17.2%	16.9%		

- 米国における機関車や都市間列車の保守契約を含む大量受注により、モビリティ部門では好調な受注が急増し、受注高は堅調に推移しました。また、大規模契約の獲得により取引量が増加したスマートインフラストラクチャーの受注件数は大幅に増加し、デジタル産業は減少傾向にあります
- スマートインフラストラクチャー、モビリティ、Siemens Healthineersの収益増加は、デジタルインダストリーのオートメーション事業の減少によってほぼ相殺されました
- 為替換算の影響により、受注高および売上高の成長率からそれぞれ1%ポイント減少。ポートフォリオの影響により、受注高の成長率から1%ポイント減少し、売上高の成長率への影響は最小限でした
- インダストリービジネスの利益：主にデジタルインダストリーのオートメーション事業による急激な減少。その他のインダストリービジネスはすべて、四半期利益が過去最高を記録したスマートインフラストラクチャーを中心に、より高い利益を上げました
- 純利益の大幅な増加。2023年度第4四半期の純利益は、シーメンス・エナジー・インベストメントに関連する2億ユーロの損失と税率の引き上げの影響を受けました
- 2023年度第4四半期の最高水準である41億ユーロを上回る50億ユーロのインダストリービジネスからのフリーキャッシュフローによる卓越したフリーキャッシュフロー。特にモビリティ部門において、厳格な運転資金管理による大幅なキャッシュインフローを記録し、すべてのインダストリービジネスは、好調なキャッシュ転換率を記録しました
- 2024年9月30日現在の年金および同様の債務引当金は、過去最低の9億ユーロ (2024年6月30日：13億ユーロ) まで減少しました
- ROCEは目標範囲内であり、純利益の増加により増加しましたが、平均資本使用量の増加により一部相殺されただけでした